

第一章 第二十四師團行動要旨

昭和十四年八月滿州哈爾濱に於て師團を編成同年十二月東安省に移駐爾來國境方面防衛に任ず（師團司令部は東安に位置す）
師團の編合左の如し

第二十四師團司令部

第二十四步兵團

步兵第二十二聯隊

步兵第三十二聯隊

步兵第八十九聯隊

搜索第二十四聯隊

野砲兵第四十二聯隊

工兵第二十四聯隊

第二十四師團通信隊

輜重兵第二十四聯隊

0197

三、昭和十九年七月六日勅員下令七月十三日勅員完結

師團編制の中歩兵各聯隊の一大隊、砲兵一大隊、衛生隊並野戰病院を欠除す

三、各部隊は自七月十三日 間東安及揚崗を出發し 自七月十九日 間下關及門司に上陸し下關及門司に宿營す

第一、第四野戰病院は門司に於て師團の編合に入る

四、七月二十四日沖繩本島に前進を命ぜられ八月一日門司、下關を出帆し八月五、六日沖繩本島に上陸し中頭郡に集結す（師團司令部は嘉手納に位置す）

五、自八月月上旬 間中頭地區の警備に任じ且陣地構築並に教育訓練を實施す

六、十月十日敵の初空襲を受く中頭地區中央の一六〇高地に戰鬥司令部所を移轉す

七、第九師團の轉進に伴ひ師團は十二月十日乃至十二日の間現駐地出發

0198

島尻地區に移駐し其の防衛並に整備を繼承す

八十二月中旬より三月末迄専ら築城を實施す

九二十年二月十一日歩兵聯隊其の他の編制改正を實施す

二十年三月二十三日敵機動部隊の空襲を受く

甲號戰備下令戰鬥部署に就く

十四月一日敵は北飛行場正面より上陸を開始す

十四月十一日歩兵第二十二聯隊第六十二師團長の指揮下に入り戰鬥に

参加す

十四月十四日師團は第六十二師團の右翼に進出すべく命ぜられ四月二

十日戰鬥司令部所津嘉山に進出各部隊は自四月二十日
至四月二十九日間逐次前進し

首里前線に到着す

十四月二十九日戰鬥司令部所を首里城軍司令部洞窟内に移す

十五年四月四日總攻撃に方り敵を壓迫前進せるも攻勢中止の軍命令に依り

攻撃前の陣地に據り持久態勢に轉移す

去月五月四日至五月中旬の間夜襲斬込等により敵に出血を與えつゝ、戦
斗を繼續す

七五月二十七日頃右翼方面即ち那霸與那原方面に敵進出す

大軍命令に基き師團は五月二十九日島尻南部丘陵地帯に據り更に持久
戦を繼續するため島尻地區に轉進を開始す

九六月二日戦斗司令所新垣に前進更に六日甲江城に前進す第一線部隊
は西海岸より國吉、大里、與座、八重瀬嶽の線に陣地を占領し陣地
の強化に努力す

一〇六月十日八重瀬嶽、與座嶽中間地區より敵攻撃を開始せるも撃退す
至六月十四日
至六月十七日
間敵は一五七高地前面より進出し來り搜索第二十四聯
隊力戦防禦す

二六六月十七日敵は我が全正面に接近し攻撃を加ふ

二六六月二十三日各部隊と師團司令部間通信連絡杜絶し統一的戦斗指揮
不能となり部隊各個の戦斗に移る

0200

二五六月三十日 甲 江城 戦斗司令所 陣地内に
 於て 師団長以下 幕僚、各部長
 二五六月二十四日 中央地区 防備の諸部隊
 一 敵の攻撃を受く

0201